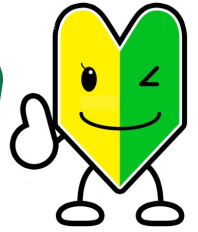




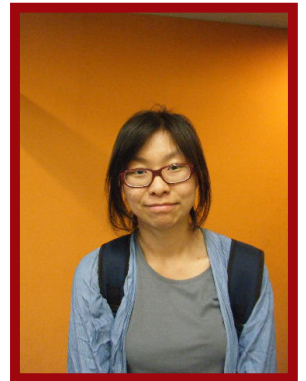
突撃!! 新人レポート



今回は、4月に入社しました東京技術部の新人に研修が終わり1カ月経っての感想等や安全について気をつけている事などをお聞きしました。

●李 亦然

日々、覚えなければならない事ばかりで、少し慌ただしく、充実した毎日を送っています。その中で実際に準備から荷降ろしまで、現場の仕事にも参加させていただきました。現場経験の長い先輩方に囲まれて、「ついて行かなきゃ」と必死でしたが現場でしかわからない物事にもたくさん触れ、本番を楽しんでいるアーティストやお客さんの笑顔も見ることが出来てよかったですと強く感じています。しかし、経験不足でバタバタに動いてしまったりしてミスもありました。特に反省をしているのは、目の前の作業だけを気にしてしまい、周りの動きをしっかりと確認しなかった為に、撤去の際にアルバイトを降りてくるトラスの下で作業をさせてしまった事、もっと会場を大事にして気を遣うべきところ、床に物を置く際に、養生をせずに置いてしまった事です。まだまだ、半人前で先輩方についていくだけでも大変ですが、猛夏に負けず皆さんと一緒に乗り越えたいと思います。



●仲尾アルバロ

1カ月の研修が明け、いざ現場が始まると何もできませんでしたが研修で学んだ事や先輩方に色々な事を教わっていく中で、少しずつですが自信に変わっています。初めて経験する事ばかりで、あまり落ち着いた行動がとれませんでした。大きな怪我無く現場を終える事ができました。これからも頑張っていきたいです。

●川上 稔

安全面において、皮手袋や安全靴、ヘルメットの着用等はもちろんのこと、物を運ぶ際は周囲を確認しながら行ったりして気をつけています。現場に行くようになり、学生時代に経験した現場のアルバイトでは使われる立場でしたが、今回使う立場が変わった事が一番大きい事だと感じました。まだ研修中ですが、日本ステージの一員として現場に出られる事を嬉しく感じています。



●亀倉 啓太

現場に行くようになり、分からない事が多くあると共に、周りが見えていないところもあります。そんな時に危険な行動を取ってしまうように思うので、作業に集中しつつも周りを見て行動するようにしたいです。

●森 一斗

最初の頃は不安がありましたが、今は色々な事を経験しながら、楽しく仕事をしています。現場に行くと今はまだ先輩方の指示で動いていますが、早く自分で考え行動できるようになりたいです。現場では、ちょっとした小さな段差でも怪我や事故の原因にもなったりするので、出来る限り声掛けをして自分だけではなく周りの人にも安全に対して気をつけるようにしています。



6月講習会のお知らせ

浦安 舞スタジオ 6/5 : 3S/フォークリフト講習会